

# HP Latex 700/800 プリンターシリーズ ステッカー制作のコツ

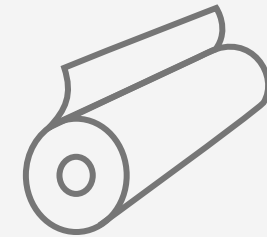
本書では、ホワイトインクで印刷されたステッカーやメタリック加工ステッカーを含む、さまざまな種類のステッカーを印刷してカットする方法について説明します。

PrintOSアカウントのLearnアプリでHP Latex 700/800プリンターシリーズに関する詳細なトレーニング-ステッカー作成をご提供しています。詳細については、[こちらの記事](#)をご覧ください。



# ステッカーを作成する方法

## 必要なもの



塩ビ粘着フィルムまたはPVCフリーフィルム



ソフトウェアツール  
(RIP、画像編集ツール  
など)



プリンター



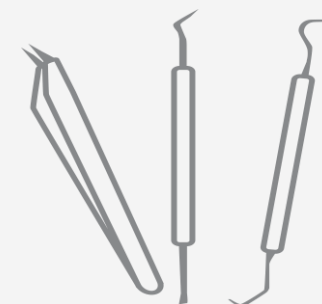
カッティングマシン  
(HP Latex Plusカッター)



ラミネートフィルム  
(オプション)



フィルムラミネーター  
(オプション)



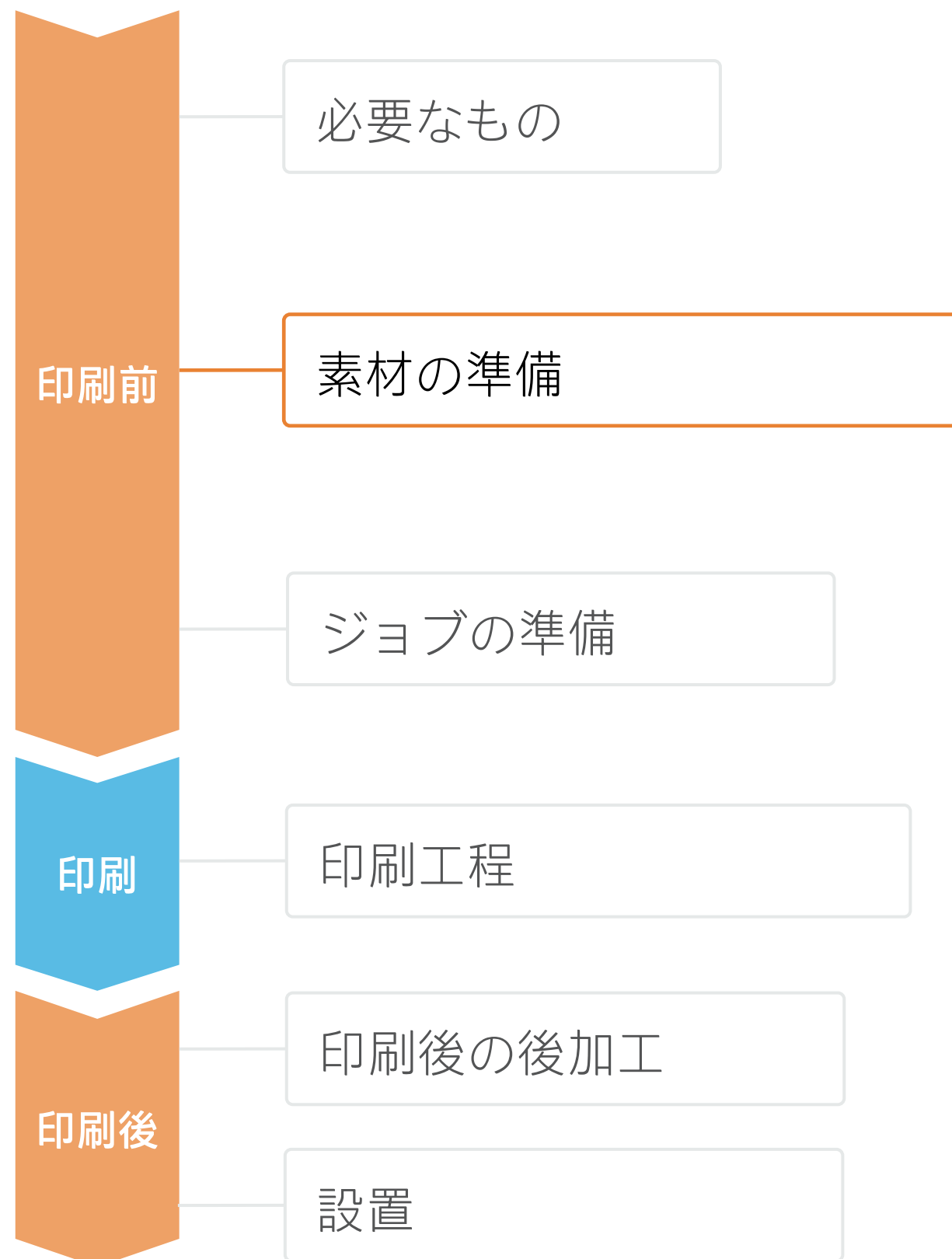
かす取りツール  
(オプション)



転写テープ  
(オプション)

# ステッカーを作成する方法

## 素材の準備



### 1. 塩ビ粘着ステッカー素材の種類

原料	表面仕上げ	粘着剤の種類
<ul style="list-style-type: none"> <li>• カレンダー（モノメリック）</li> <li>• カレンダー（ポリメリック）</li> <li>• PVCフリーの素材</li> <li>• ポリエステルフィルム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 光沢（グロス）</li> <li>• つや消し（マット）</li> <li>• 透明</li> <li>• メタリック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パーマネント</li> <li>• 再剥離（リムーバブル）</li> <li>• 位置決め容易（リポジショナブル）</li> <li>• 透明糊またはグレー糊（不透明）</li> </ul>

### 2. 用途

- 通常、グラフィックスは**短期間**（宣伝や一時的なイベント）用であり、**平面**に適用されます。
- **中～長期間**の使用や**通行量の多い区域**では、フィルムラミネート加工でグラフィックスを保護することをお勧めします。

**注記：**フロアグラフィックスの場合は、この用途に対応する塩ビ粘着フィルム（SAV）を使用することを推奨します。床への接着性を高めるには、特殊な接着剤やプライマーを使用します。特殊な**防滑性の高いラミネート加工**もお勧めします。

### 3. 素材プリセット

- 以下のいずれかで、使用する素材に対応する素材プリセットがあることを確認します。
  - a) Web上のHP PrintOSメディアロケータ： [www.printos.com/ml/#/medialocator](http://www.printos.com/ml/#/medialocator)
  - b) プリンターのフロントパネルのオンライン検索（素材ライブラリ）
  - c) Web上の素材ベンダーまたはRIPベンダーのWebサイト
- ダウンロードおよびインストールします。

**注記：**素材プリセットが見つからない場合は、プリンターに既にインストールされている塩ビ粘着フィルム用の汎用プリセットをいつでも使用できます。設定を微調整する必要がある場合は、既存の汎用プリセットを複製して修正するか、フロントパネルの【Add new substrate（新しい素材の追加）】機能を使用して新しいプリセットを作成できます。

**ヒント：**プロファイルのカスタマイズ方法については、[Learn with HP Webサイト](#)で提供中のトレーニング「HP Latex 700/800プリンターシリーズ-高度なメンテナンスとメンテナンスルーチン」に登録してください。

# ステッカーを作成する方法

## ジョブの準備



## 1. 設計・編集用ソフトウェア

Adobe Illustrator、Photoshop、InDesignなどのツールを利用して、ジョブを設計、編集し、ニーズに合わせて調整できます。



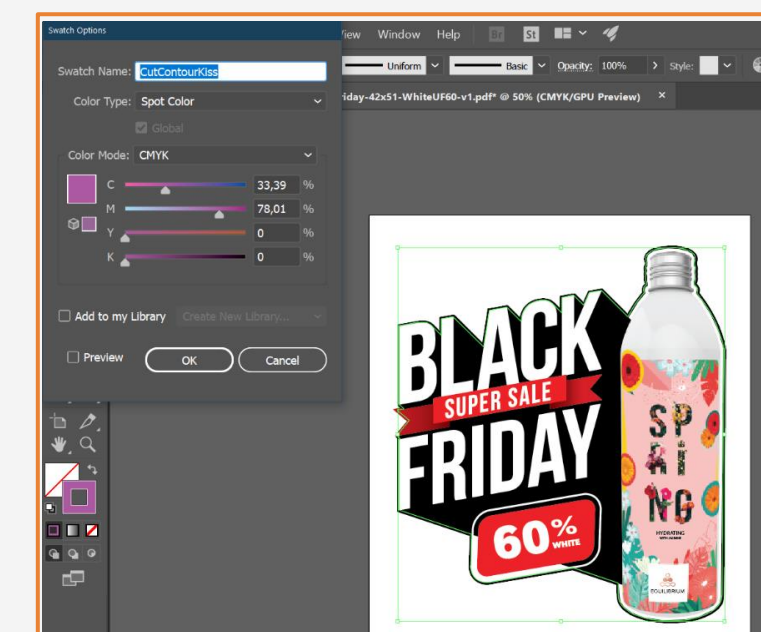
ニーズに応じた  
意思決定

## 2. ジョブの編集

最も一般的な編集属性の1つは、**カットパスの定義**です。

1. **カットパスの描画**：グラフィックスの輪郭をなぞるか、ポスター風のカットにします。
2. **新しい色見本の作成**：スポットカラーとして定義し、名前を付けます（CutContour、CutContourKiss、CutThroughなど）。
3. カット用の色見本をカットパスに**割り当てます**。

**注記**：通常、Adobeにカットパスが追加されます。HP Flexi PrintとCUT RIPを使用すれば、RIPから直接追加できます。RIPのマニュアルを参照してください。

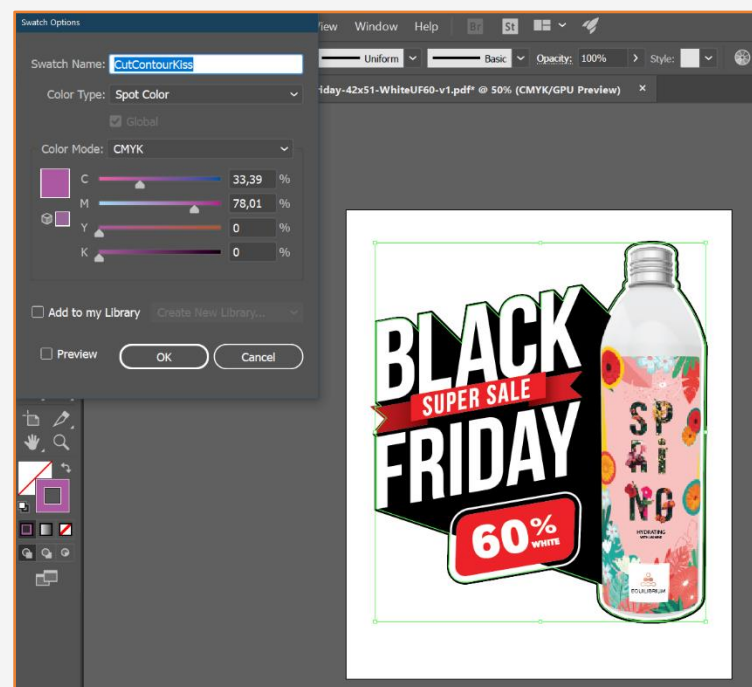


# ステッカーを作成する方法

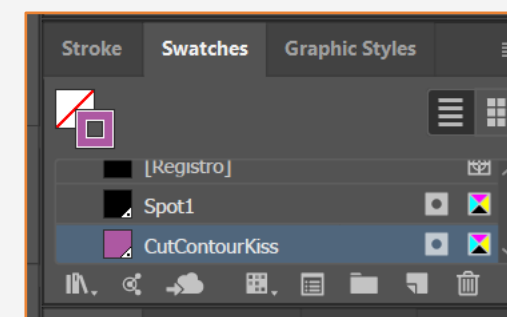
## ジョブの準備



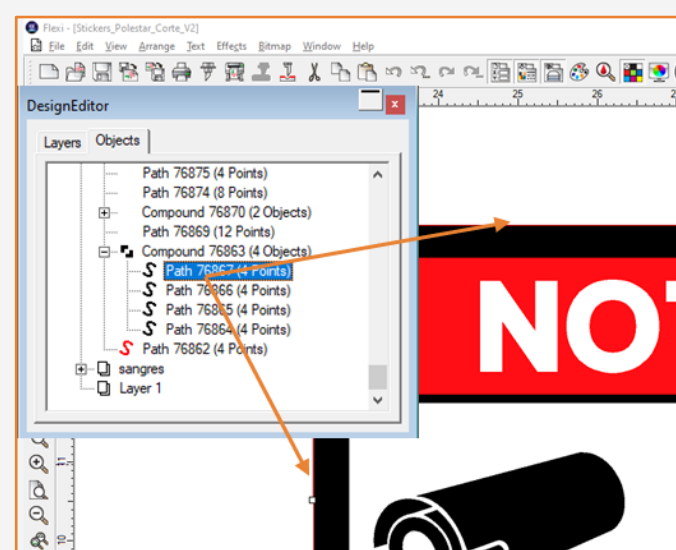
## A. 輪郭マークの追加 - Adobeを使用する



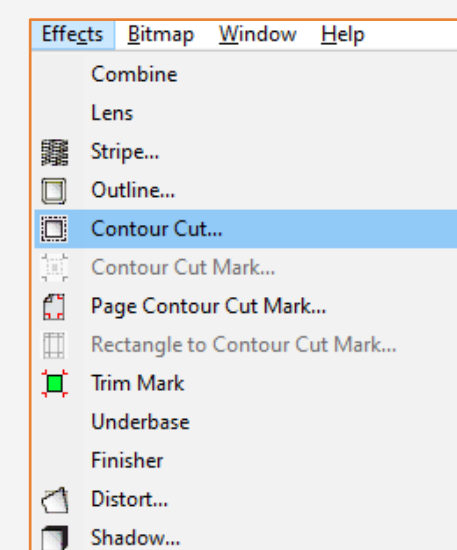
- 新規スウォッチを作成
- 識別可能な名前を割り当てる (CutContourKissなど)
- 色の種類を選択：スポットカラー
- その色見本を使用してカットパスを作成



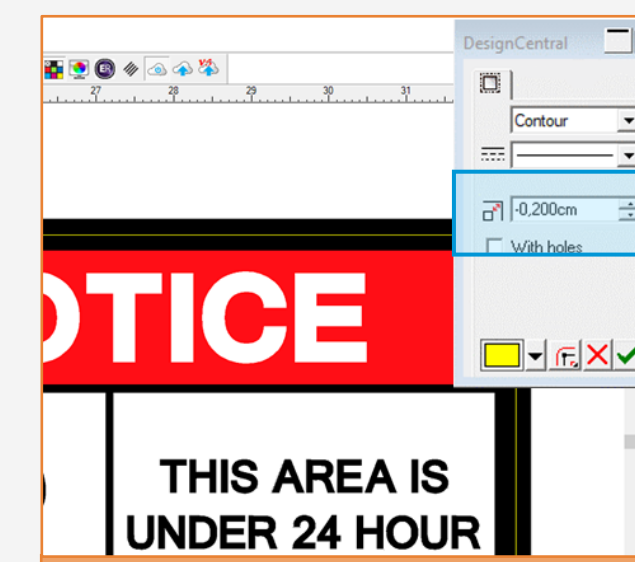
## B. 輪郭マークの追加 - SAI HP Flexi PrintとCut Editorを使用する



1. パスを選択  
Design Editorウィンドウにハイライト表示されます。



2. 輪郭カットを追加  
メニューバーの【Effects (エフェクト)】タブから行います。

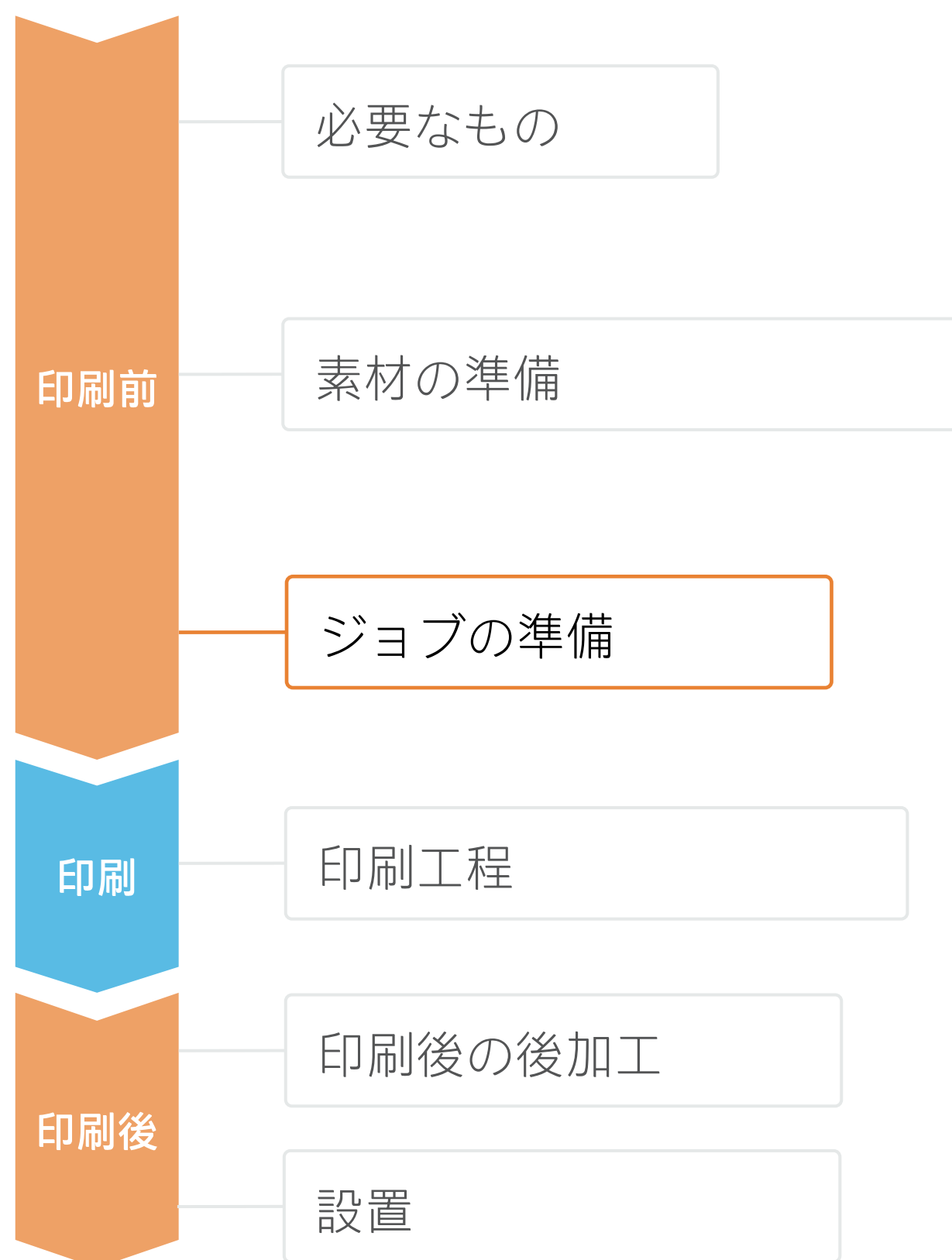


3. 輪郭プロパティを指定  
Design Centralウィンドウから行います。  
色を選択して【Apply (適用)】をクリックする

💡 ヒント：不正確なカットを防ぐために、カットパスが沿う輪郭線にブリードを追加し、カット対象以外の領域がカットされないようにします。

# ステッカーを作成する方法

## ジョブの準備



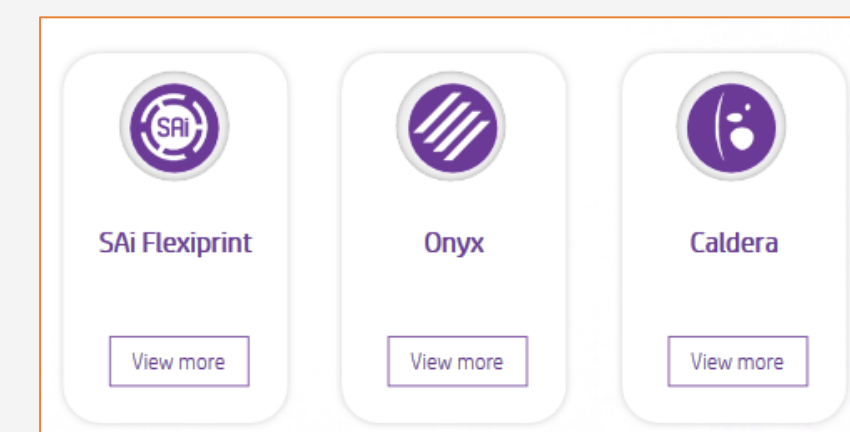
## 3. RIP処理

ONYX、CALDERA、SAiのRIPは、HP Latex 700/800プリンターシリーズ用に認定されています。

これらすべてのRIPに、ジョブ編集専用オプションがあります。

### A. 素材と印刷モードの選択

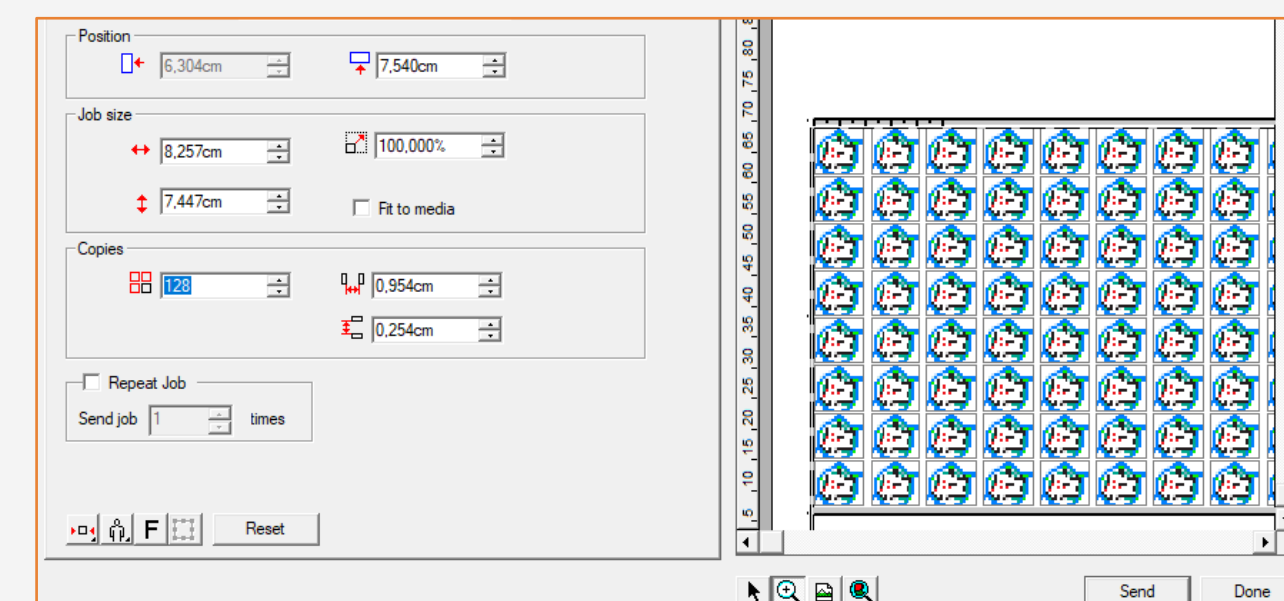
- 素材の種類（塩ビ粘着フィルム）を選択してから、プリンターにセットした素材を選択します。
- 次に、印刷モードを選択します。通常、8pモードを使用すると、塩ビ粘着フィルムで高品質の印刷が可能になります。より高い色と長さの一貫性が必要な場合は、12p印刷モードを選択します。
- グラフィックスをラミネート加工する場合は、RIPの [optimize for lamination（ラミネート加工用に最適化）] オプションを有効にするか、0dppでオーバーコートを行う印刷モードを選択します。



**注記**：PrintOS LearnアプリでRIPに関するトレーニングを参照してください。

### B. 画像のサイズと部数

- ステッカーの画像を選択します。
- 画像サイズを変更します。
- 部数を設定します。



**注記**：ホワイトインクレイヤーを使用する場合は、トレーニング「HP Latex 700/800プリンターシリーズ - ホワイトトインク」に登録して、IllustratorとPhotoshopで作成する方法を学びましょう。Learn with HP Webサイトで提供されています。または、クックブック『ホワイトで印刷する方法』を参照してください。



ニーズに応じた  
意思決定

# ステッカーを作成する方法

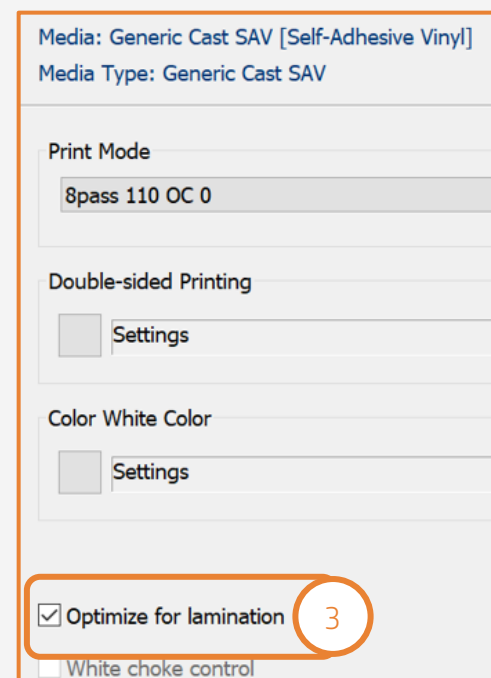
## ジョブの準備



## C. ラミネート用に最適化するオプション



ニーズに応じた  
意思決定



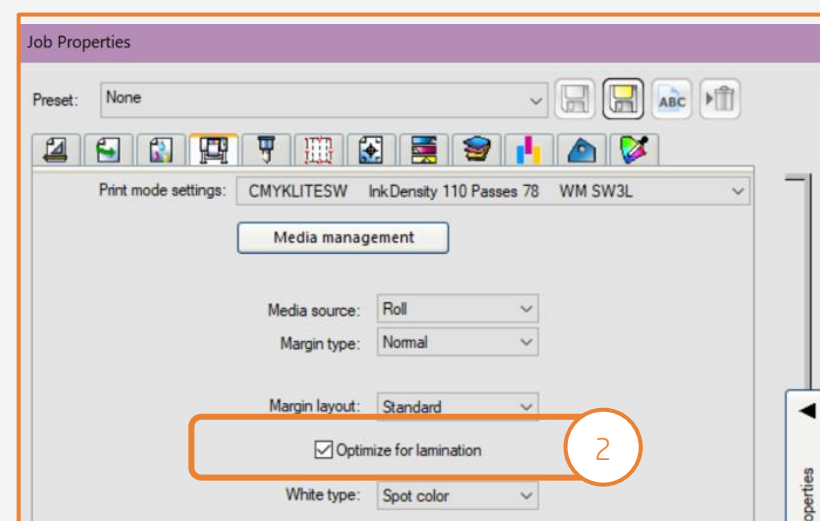
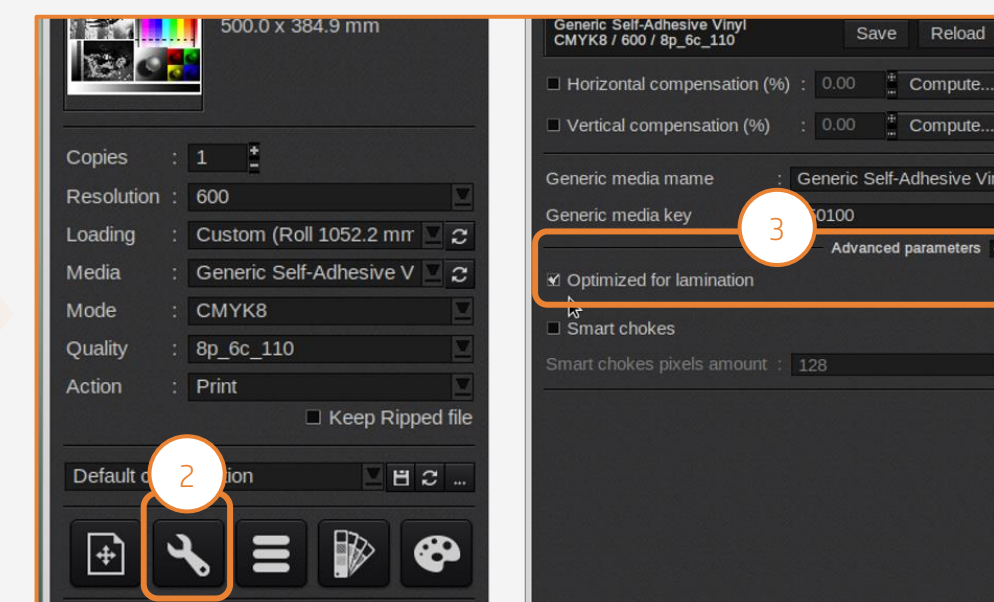
### ONYX

ジョブのキューで以下を実行します。

1. ジョブを右クリックします。
2. [Edit (編集)] - [Printer Settings (プリンター設定)] を選択します。
3. [Optimize for lamination (ラミネート用に最適化)] をクリックします。

### Caldera

1. プリンターのオプションメニューを開きます。
2. [Specific settings for printer (プリンター固有の設定)] をクリックします (レンチアイコン)。
3. [Advanced parameters (高度なパラメーター)] メニューで、[Optimized for lamination (ラミネート用に最適化)] を選択します。



### SAi

ジョブプロパティメニューで以下を実行します。

1. [Printer Options (プリンターオプション)] タブを選択します。
2. [Optimize for lamination (ラミネート用に最適化)] を選択します。

# ステッカーを作成する方法

## ジョブの準備



## D. レジストレーションマークとHPバーコード

レジストレーションマークは、適切なカット精度と正確な補正を保証します。HPバーコードは、新しいHP Latex Plusカットソリューションから直接ジョブを自動的に取得することで、無人カットを可能にします。

- ジョブにより適したOPOSオプションを選択します。

OPOS - グラフィックスの左右にマークの列が印刷されます。印刷結果にゆがみがない場合、スキューの補正に使用します。



OPOS XY - ゆがみ補正用のレジストレーションマークと水平線が印刷されます。OPOSセンサーが、ゆがみを補正するために下の線を読み取ります。



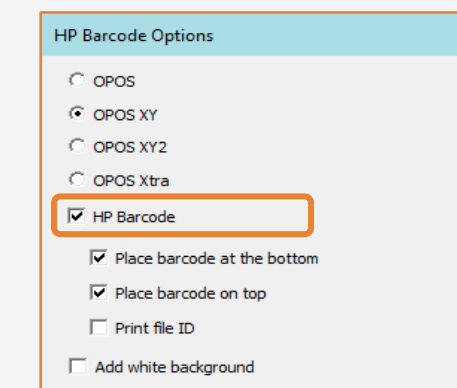
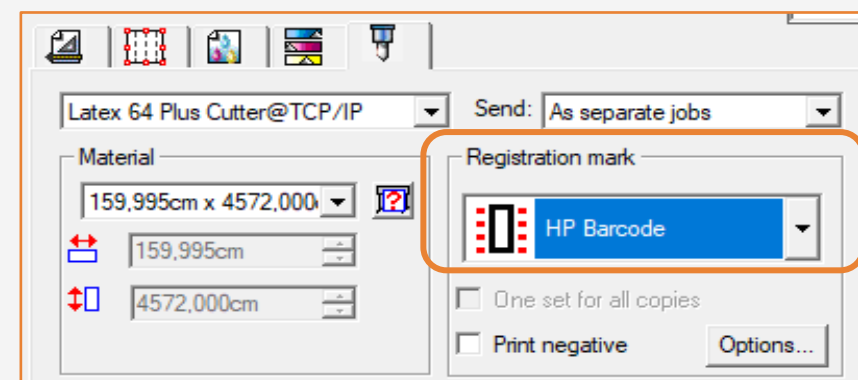
OPOS XY2 - ゆがみ補正用のレジストレーションマークと水平線が印刷されます。OPOSセンサーが、必要に応じてゆがみを補正するために下の線を読み取ります。



OPOS XY2 - ゆがみ補正用のレジストレーションマークと複数の水平線が印刷されます。OPOSセンサーが、ゆがみを補正するためにパネルごとに水平線を読み取ります。



- HPバーコードを追加して、ワークフローを自動化します。



注記：HPカットソリューションの詳細は、次のリンクからご覧いただけます。

- [hplatitudeknowledgecenter.com/printers](https://hplatitudeknowledgecenter.com/printers)
- [HP Latex Plusカッター - ユーザーガイド](#)



# ステッカーを作成する方法

## ジョブの準備

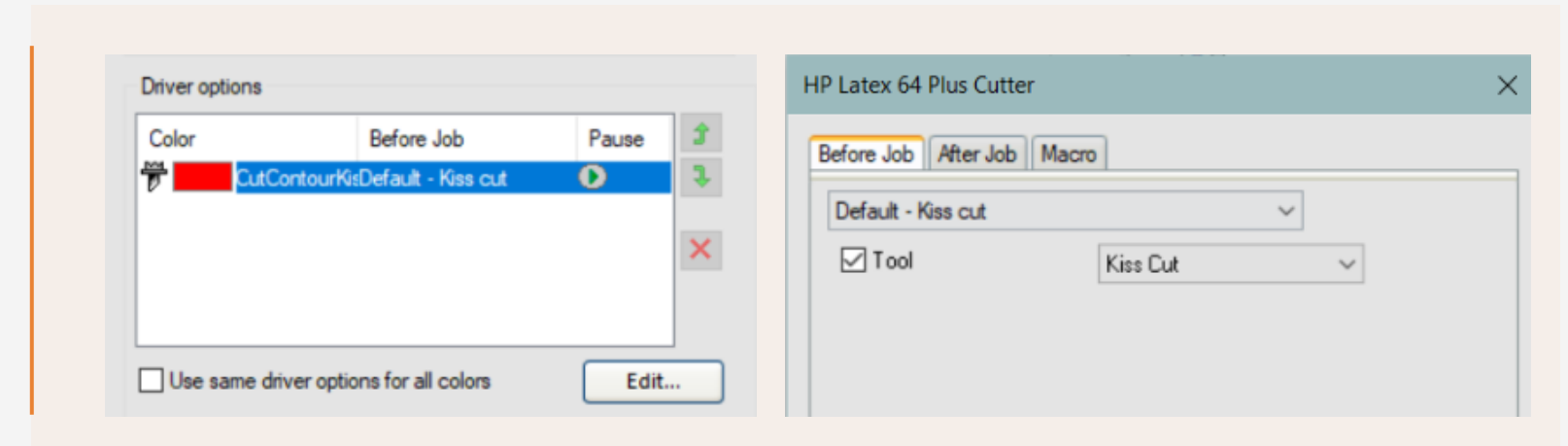


## E. カットの準備

カッターを調整するための最も一般的なパラメーターは、カット圧力とカット速度です。カットパラメーターは、カットジョブのそれぞれのカットの種類に合わせて調整する必要があります。

- キスカットのカットパス
- カットスルーのカットパス (オプション)

1. RIPでデフォルトのカットパラメーターを設定します



2. ジョブをカットする前に、カッターの設定メニューから圧力と速度を調整します

**HP Cutter**

Configuration 1  
LAN 192.168.10.2

50000 x 145 mm

Knife

700 mm/s

90 g

キスカット (ハーフカット)

テスト

💡 ヒント: テストパターンがフィルムに完全に切り込まれ、フィルムがはがれ、素材のバックング (裏地) の表面に刃先による傷が見られる場合は、切断刃の圧力が正しく設定されています。切断刃がバックングを完全にカットしないようにする必要があります。

**HP Cutter**

Configuration 1  
LAN 192.168.10.2

50000 x 145 mm

Knife

700 mm/s

90 g

**FlexCut**

Full pressure  
Full pressure cut length

Flex pressure  
Flex pressure cut length

FlexCut mode  
FlexCut Velocity

カットスルー (フルカット/FlexCut)

テスト

💡 ヒント: 素材が完全にカットされても、テストパターンの形状が保持され、後からはがすことができる場合は、設定が正しく設定されています。

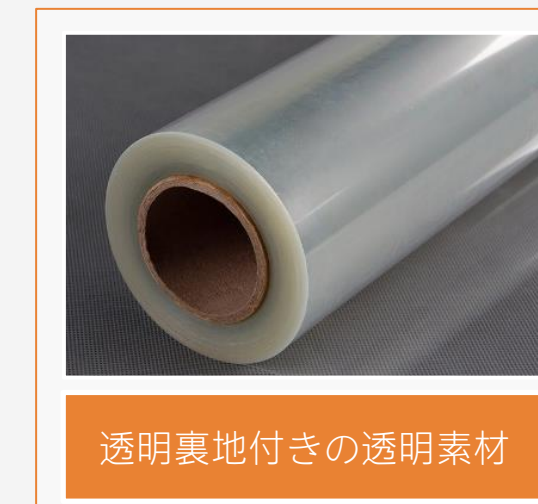
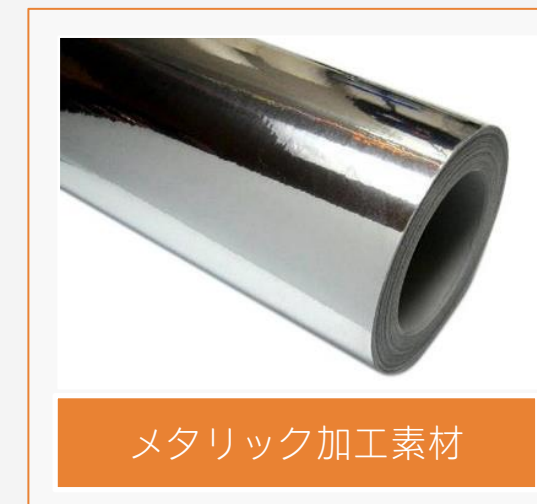
# ステッカーを作成する方法

## ジョブの準備



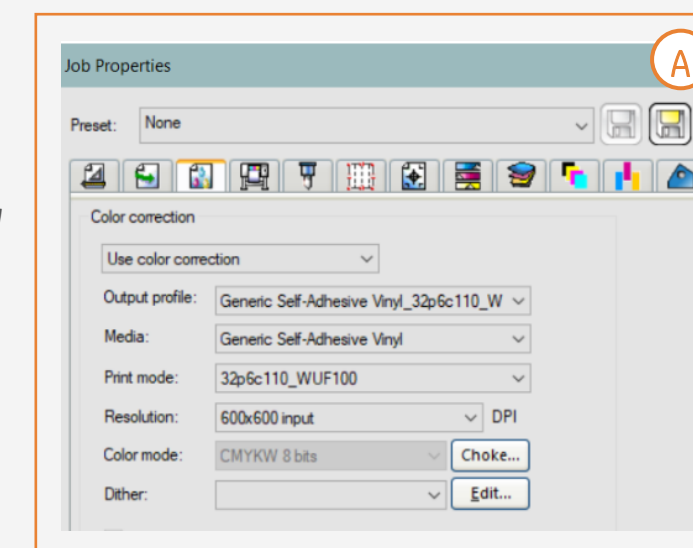
## 4. 特殊素材にホワイトインクでジョブを印刷してカットするためのヒント - SAI

次のような素材を使用するには、特定の設定が必要です。



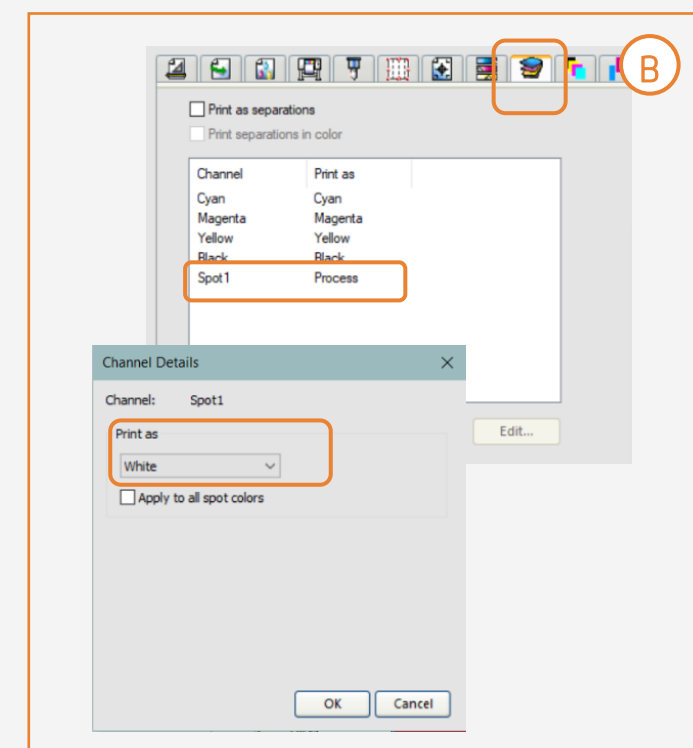
### A. 印刷モードの選択

- ホワイト印刷モードを選択  
濃度W100のUF、SP、OFまたはSW



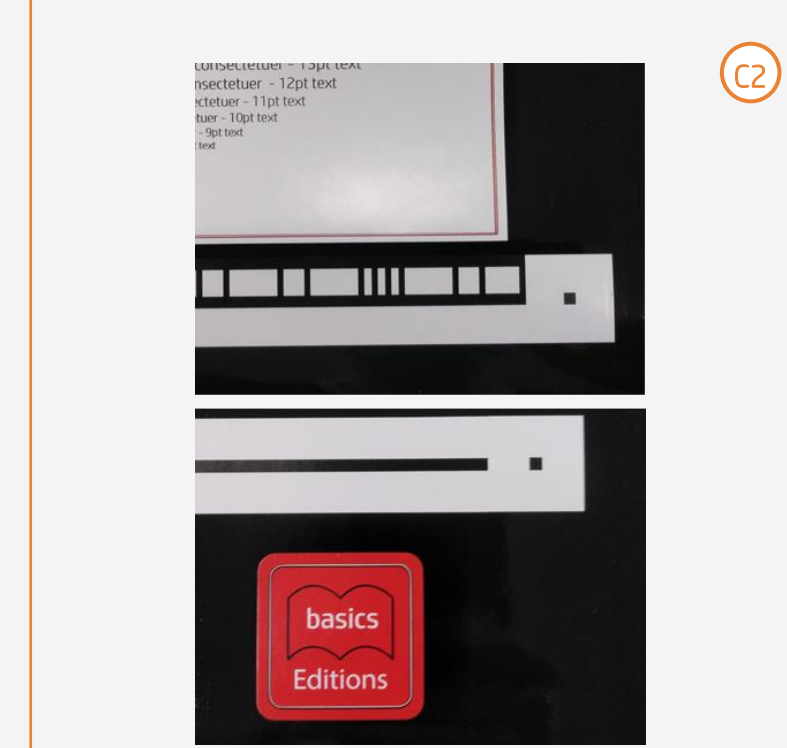
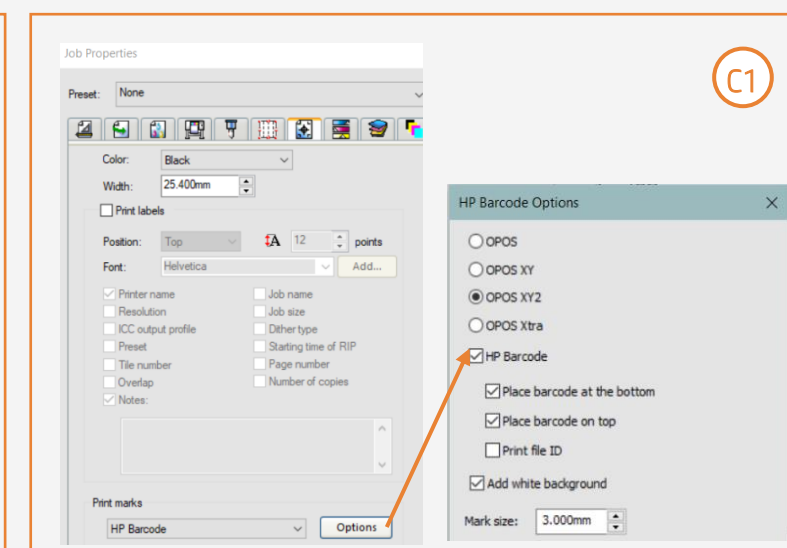
### B. 色分解

- [Channel (チャンネル)] で「Spot1」を選択
- 編集
- [Print as] (印刷モード) で [White (ホワイト)] を選択



### C. HPバーコード

- 目的のOPOSとHPバーコードを選択
- [Add white background (ホワイト背景を追加)] を選択。図を参照 (C1)
- OPOSとHPバーコードはホワイトの境界付きで印刷されるため、OPOSセンサーで読み取理可能。図を参照 (C2)



# ステッカーを作成する方法

## ジョブの準備



## 5. ホワイトインクを使用したメタリック加工効果 | メタリック仕上げの素材を使用するSAiとColorLogic

HP Latexホワイトインク、ColorLogicソフトウェア、KernowJet Metalik Inkjetなどのメタリック仕上げの素材を使用すれば、メタリック加工効果を出すことができます。

© Color-Logic Inc www.color-logic.com

**COLOR LOGIC** Special Effects for Print™

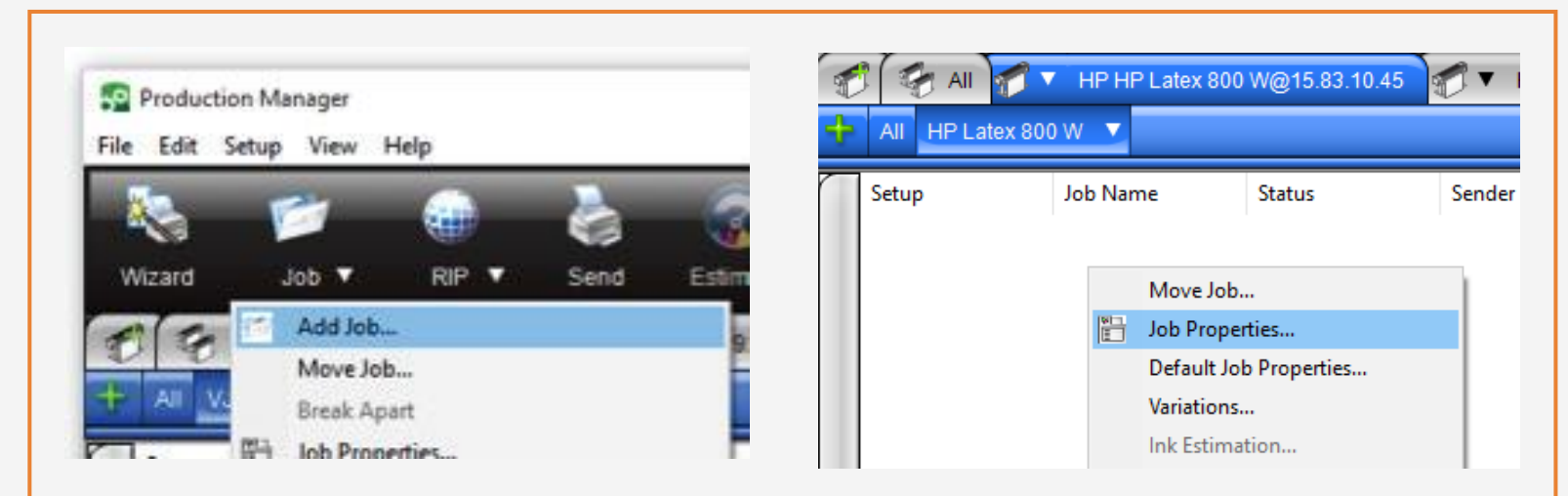
**KERNOW COATINGS LTD**

### 作成

Adobeや、ColorLogicのパレットとプラグインを使用して、メタリック加工効果のある画像ファイルを作成できます。詳細についてはColorLogicのWebサイト (<https://www.color-logic.com/>) をご覧ください。

### A. 画像ファイルの読み込み

- PDFファイルを読み込みます。
- ファイルを右クリックし、[Job properties (ジョブプロパティ)] メニューを開きます。



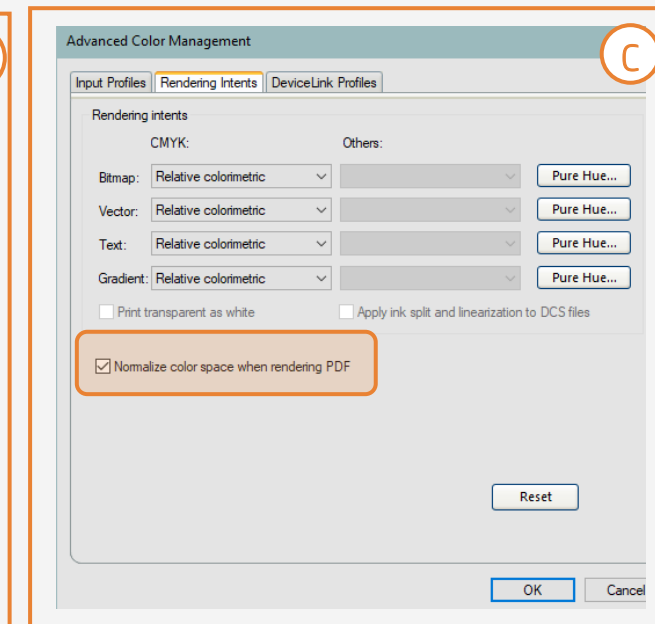
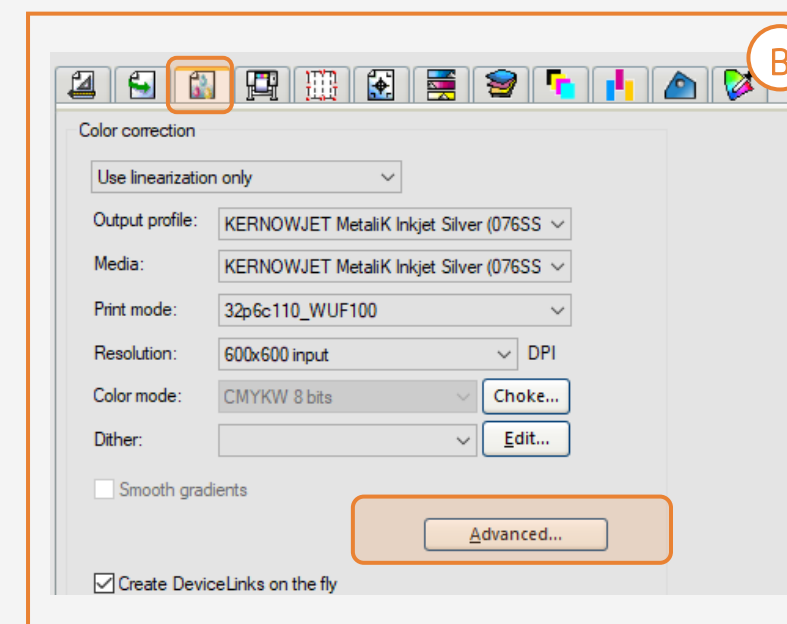
# ステッカーを作成する方法

## ジョブの準備



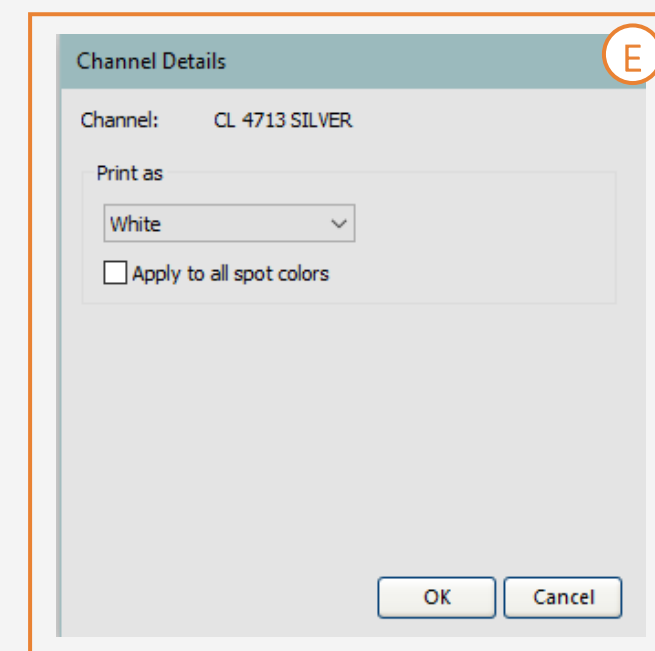
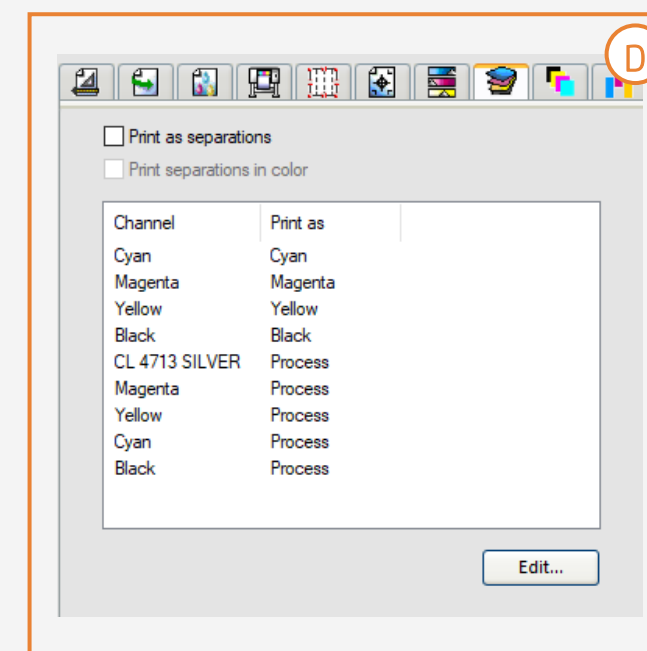
### B. 色補正

- [Color management (色管理)] タブをクリックし、[Use linearization only (リニアライズのみ使用)] メニューを選択します。



### C. レンダリングインテント

- [Advanced (詳細)] をクリックしてレンダリングインテントを設定し、[Normalize color space when rendering PDF (PDFレンダリング時に色空間を正規化)] にチェックを入れます。



### D. 色分解

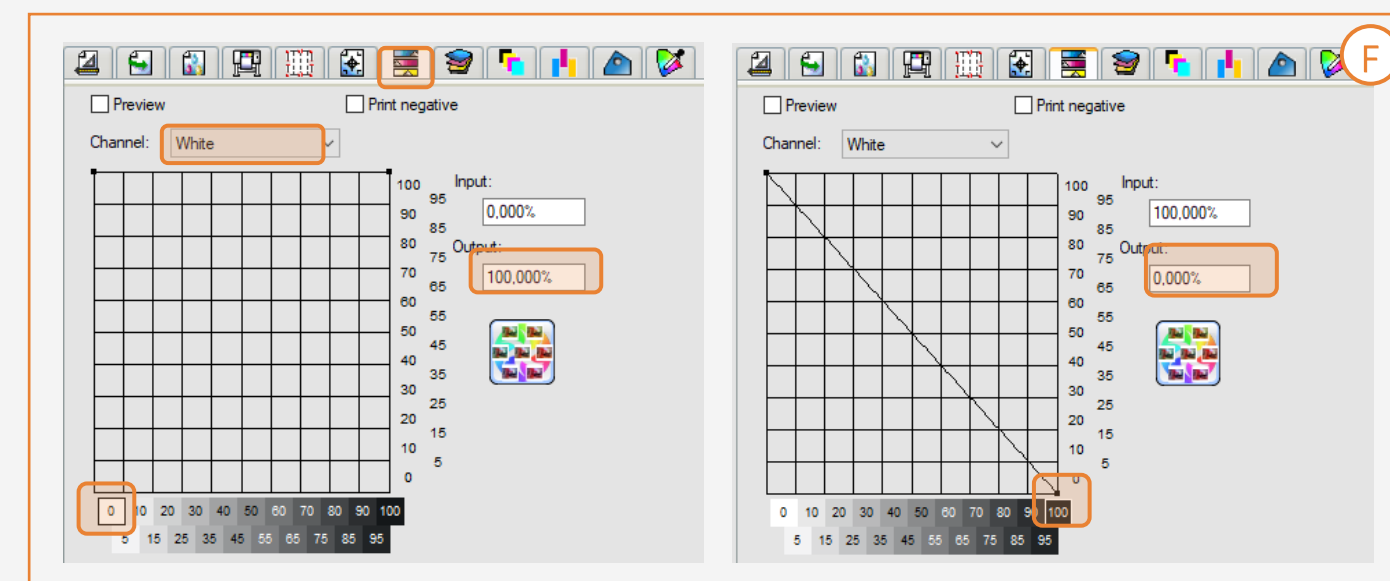
- [Separations (分解)] タブをクリックし、[CL 4713 SILVER] チャンネルを選択し、[Edit (編集)] をクリックします。

### E. ホワイトチャンネル

- [Print as (印刷モード)] を [White] に変更します。

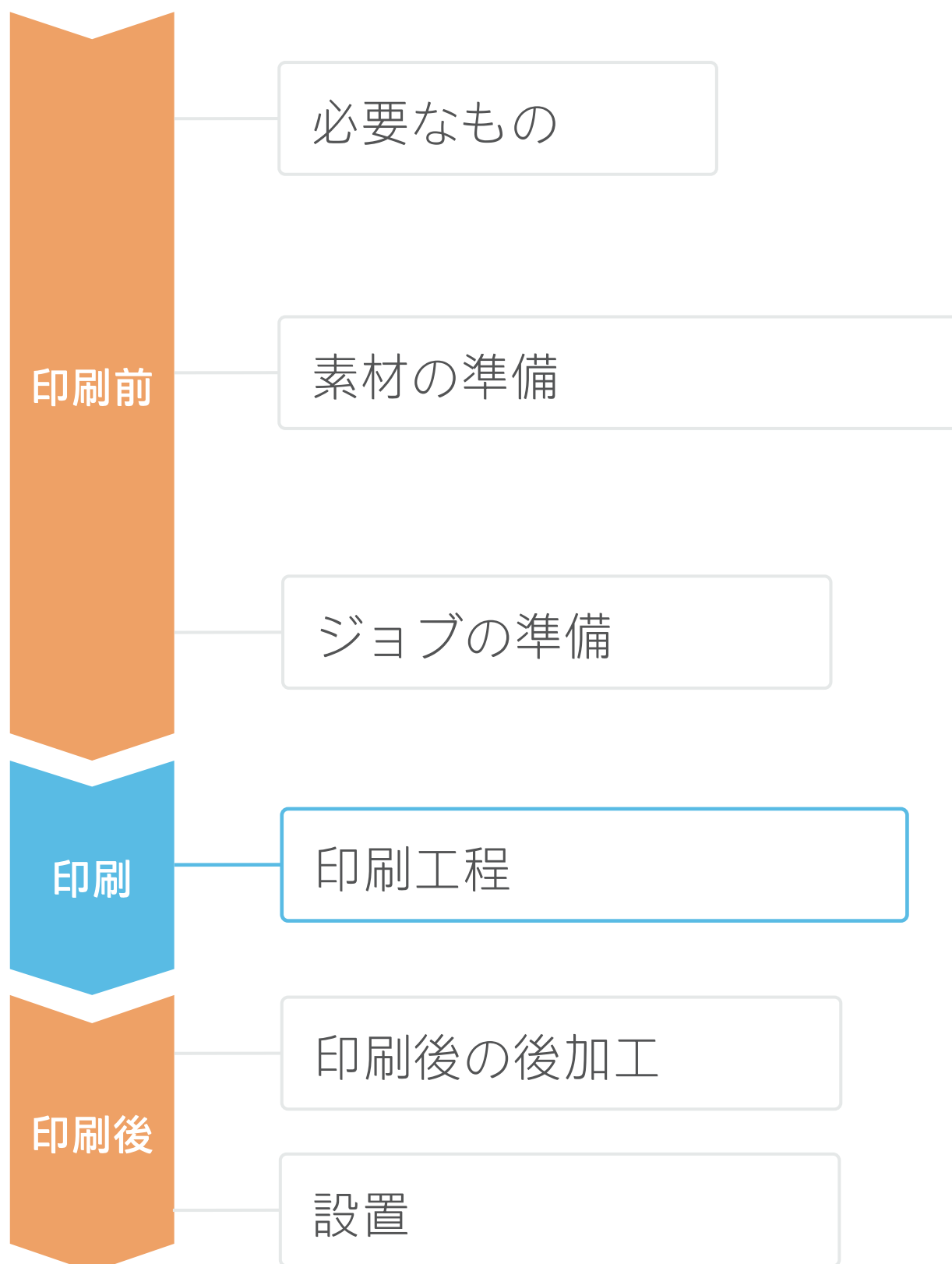
### F. チャンネルの位相反転

- [Color Adjustments (色調整)] タブを開き、[White channel (ホワイトチャンネル)] を選択します。
- グラフの下の「#0」をクリックし、[Output (出力)] テキストボックスに「100%」と入力します。
- 次に、「#100」をクリックし、[Output (出力)] テキストボックスに「0%」と入力します。



# ステッカーを作成する方法

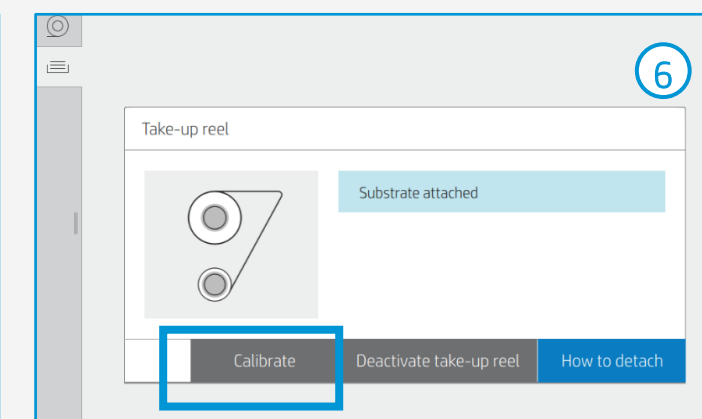
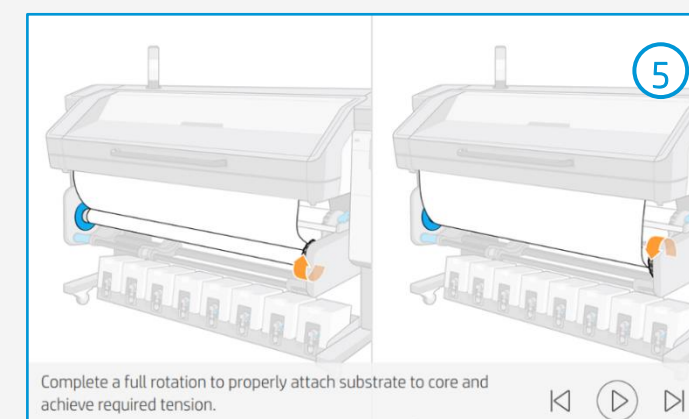
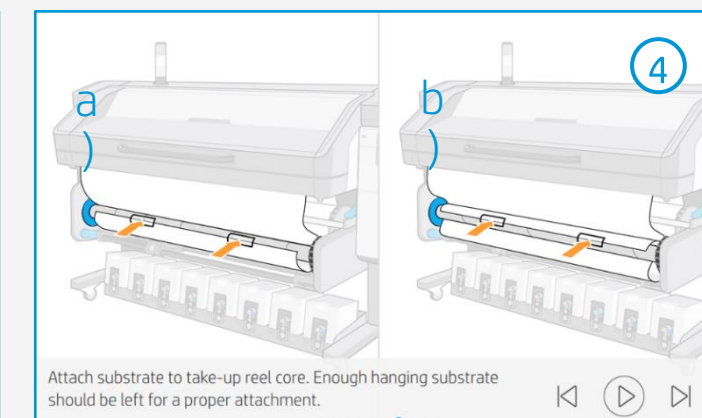
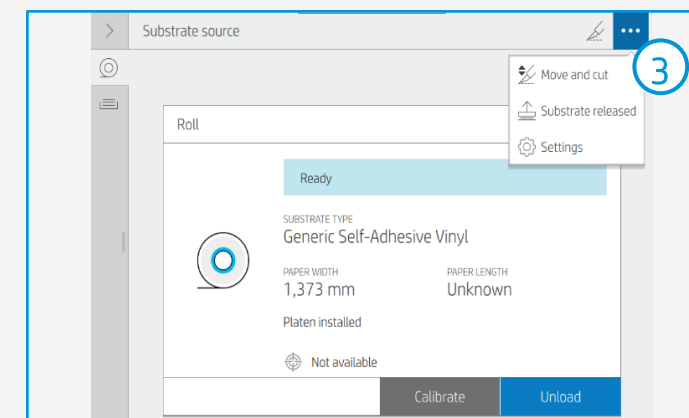
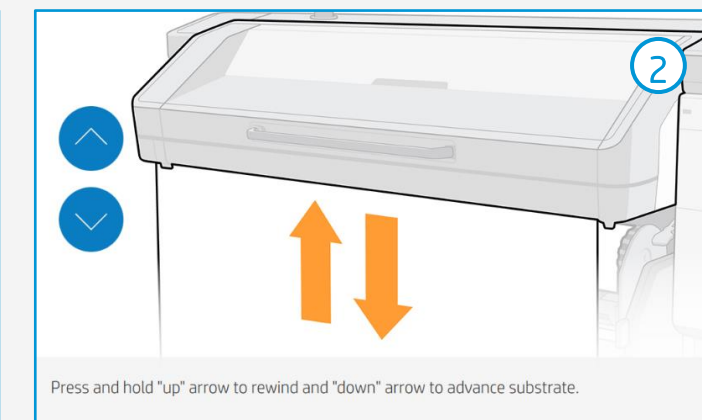
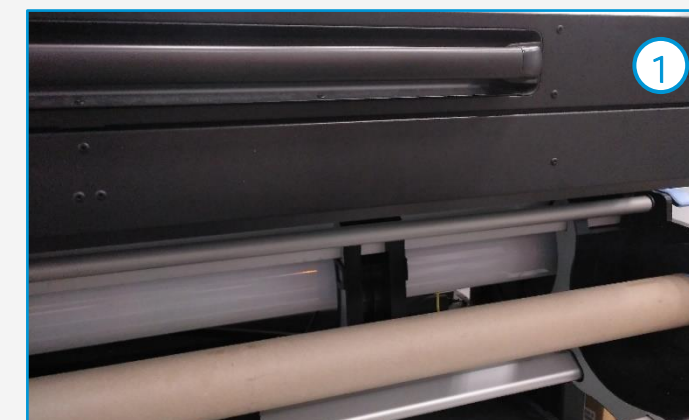
## 印刷工程



## 素材のセット | 巻き取りリール(TUR)への取り付け



1. 巻き取りリール(TUR)を準備  
TURに空のコアを取り付けます。
2. 素材を移動  
TURの先端レベルまで素材を送ります。
3. 素材をピンチから外す
  - ピンチホイールを持ち上げます。
  - 素材の右端の位置を給紙ロールの右端に合わせます。
  - フロントパネルの【Done (完了)】をタップしてピンチホイールを下げます。
4. TURに素材を取り付ける (オプション)  
印刷面が内側 (a) または外側 (b) (外側が最も一般的) になるように素材を取り付けます。
5. TURの起動  
TURを完全に回転させます。
6. TURの補正  
フロントパネルの【Calibrate (補正)】を選択します。



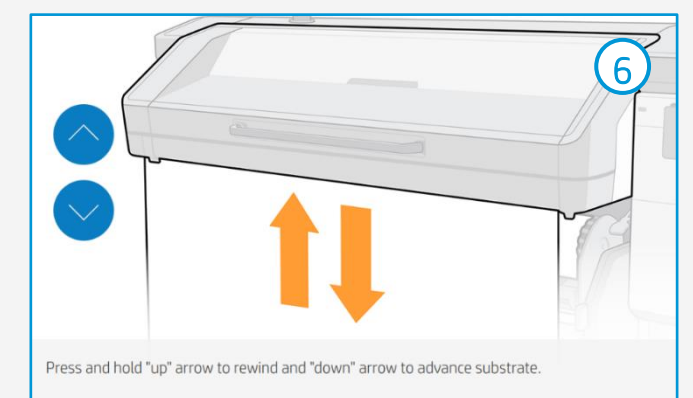
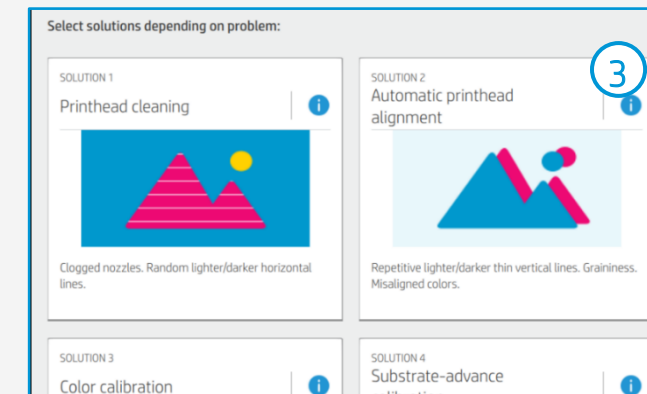
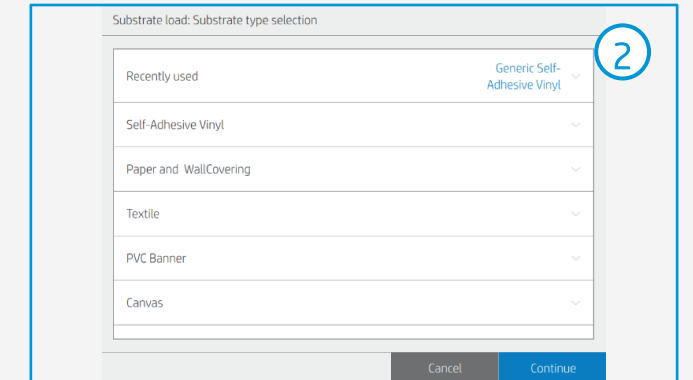
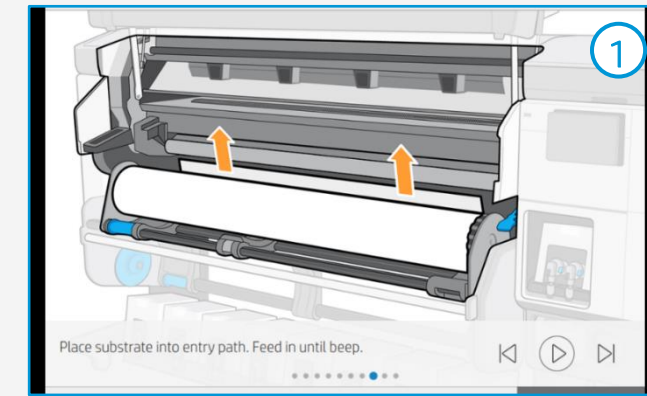
💡 ヒント：長いジョブの場合は、巻き取りリール (TUR) に素材を取り付けます。タイリング用途の場合は、TURに取り付けてから印刷を開始します。

# ステッカーを作成する方法

## 印刷工程



1. ロールをセット  
デフォルトでは、これは自動モードで行われます。
2. 適切な素材プリセットを選択  
素材が新しい場合は、汎用の塩ビ粘着フィルムプリセットを選択します。
3. 印刷のIQステータスを確認します。  
プリントヘッドのノズルチェックとプリントヘッドの軸合わせを行います。軸合わせは光沢塩ビをおすすめします。
4. 印刷開始位置  
通常、これは印刷プラテンの位置ですが、一部の塩ビフィルムでは素材の損傷を避けるため、硬化ゾーンの後ろに配置するか、TURに取り付ける必要があります。
5. RIPから印刷するジョブを送信
  - RIPが、セットされた素材をプリンターと同期済みであることを確認します。
  - 適切な印刷モードとその他の設定（部数、配置など）を選択します。
  - 【Send to print（送信して印刷）】をクリックします。
6. 印刷されたロールのカットと取り出し  
これは自動モードまたは手動で実行できます。



**ヒント**：印刷されたジョブをカットする前に、印刷されたロールを取り外すときに保護するため、素材を送ります。

# ステッカーを作成する方法

## 印刷後の後加工



### 1. ラミネート加工（オプション）

塩ビ粘着フィルムメーカーが推奨するラミネートフィルムを使用します。

塩ビ粘着フィルムとラミネートの組み合わせに固有のラミネート加工設定（速度、圧力、温度）に従います。



⚠ **重要：** 長期使用、通行量の多い場所、頻繁に清掃される表面に推奨されます。

💡 **ヒント：** ラミネート加工を行う場合、オーバーコートなしの印刷モードを選択するか、RIPのプリンター設定で【Optimize for lamination（ラミネート用に最適化）】オプションをオンにしてください。

### 2. カット

グラフィックスを自動的にカットするには、XYカッターまたはフラットベッド輪郭カッターを使用します。

「キスカット」は最も一般的なカット方式ですが、場合によっては「カットスルー」を追加して各ステッカーを分割できます。



新しいHP Latex Plusカッター



カットスルーを用いたステッカー



キスカット後のウィーディング

# ステッカーを作成する方法

## 印刷後の後加工



### 3. 特殊メディアのカット – ホワイトインク用OPOS

#### A. プロットの正確なセット

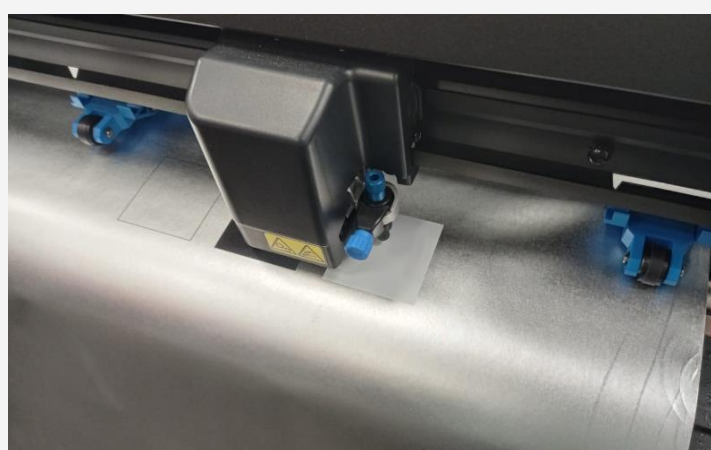


最初のピンチの一部がHPバーコードのホワイト部分に位置するように出力物を配置します（図を参照）。

#### B. メディアの校正（OPOS）



印刷およびカットジョブ用の素材に、ブラック（100 CMYK）とホワイト（Spot W100）の校正ボックス（3x3 cm）を印刷します。



カッターのフロントパネルで、[Calibrations（校正）] > [Calibrate media (OPOS)（メディアの校正（OPOS））] をタップします。フロントパネルの指示に従います。印刷対象外領域を含む各カラーパッチの上に、OPOSセンサーを配置するように表示されます。

**⚠️ 重要：** ホワイト背景のHPバーコードの場合、ワークフローを無人化できません。最初のジョブをカットしたら、次のジョブのHPバーコードの下にOPOSセンサーを配置する必要があります。

**💡 ヒント：** 印刷およびカットジョブを続行する前に、カッターで必要な校正をすべて実行します。詳細についてはHPのカッター [ユーザーガイド](#) をご確認ください。



# ステッカーを作成する方法

## 設置



## 1. 印刷とカットのさまざまな用途



# ステッカーを作成する方法

## 備考

- テキストがより鮮明なカラフルでエレガントなステッカー。
- 境界のないステッカーをカットしても丸まりが生じません。
- 新しいHP Latexインクは安全な室内の用途に最適。最新のHP LatexインクはUL ECOLOGOおよびUL GREENGUARD GOLD認証を取得し、有害化学物質の放出ゼロ（ZDHC）の製造時使用制限物質リストv1.1に準拠。
- 長期間の使用や通行量の多い場所では、フィルムラミネート加工で印刷物を保護することをお勧めします。

詳細はこちら：

- [HP Latex Knowledge Center](#)
- [Learn with HP](#)

## 認定：



<sup>1</sup> 有害化学物質の放出ゼロ（Zero Discharge of Hazardous Chemicals）。HP Latexインクに該当。ZDHCのRoadmap to Zeroのレベル1は、ZDHCが製造工程での意図的使用を禁じた化学物質のリスト、ZDHC MRSL 1.1の基準をインクが満たしていることを意味します。ZDHCは、皮、テキスタイル、合成皮革から有害化学物質を排除し、持続可能な化学物質を使用することを目指す組織です。Roadmap to Zeroプログラムは、ブランド企業と傘下の関連企業を含む複数のステークホルダーで構成された組織であり、化学物質の管理で責任を果たすために協力して取り組んでいます。[roadmaptozero.com](http://roadmaptozero.com)をご覧ください。

<sup>2</sup> Rシリーズおよび700/800プリンターシリーズのHP Latexインクに該当。UL 2801に対するUL ECOLOGO® 認証は、インクが人間の健康や環境への配慮に関する、複数の属性を持つライフサイクルベースの厳格な基準を満たしていることを示しています（[ul.com/EL](http://ul.com/EL)をご覧ください）。HPは、「印刷用インクおよびグラフィックスフィルム」製品カテゴリでUL ECOLOGO® 認定インクを提供する唯一の印刷関連企業です。詳細については、[spot.ul.com/main-app/products/catalog/](http://spot.ul.com/main-app/products/catalog/)をご覧ください。

<sup>3</sup> HP Latexインクに該当。UL 2818に対するUL GREENGUARD GOLD認証は、製品がULのGREENGUARD基準を満たしており、製品使用時の屋内への化学物質の放出が少ないことを示しています。無制限の部屋サイズ—全面的に装飾された部屋、オフィス環境では33.4 m<sup>2</sup> (360 ft<sup>2</sup>)、教室環境では94.6 m<sup>2</sup> (1,018 ft<sup>2</sup>)。詳細については、[ul.com/gg](http://ul.com/gg)または[greenguard.org](http://greenguard.org)をご覧ください。

## 共催：



